

粉じん爆発・火災安全研修【初級】

— 「粉じん爆発・火災」に関し、初めて研修を受ける方並びに
基本から系統的に学びたい方を対象としています —

日時： 平成 23 年 11 月 1 日(火)～2 日(水) 1 日(火) 9:45～17:10 2 日(水) 9:00～17:10

場所： 独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 <http://www.jniosh.go.jp>
〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-4-6 TEL:042-491-4512
西武池袋線 清瀬駅「南口 2 番バス停」より西武バスにて「東京病院北」下車（所要時間約 5 分）
（西武池袋線清瀬駅南口、西武池袋線秋津駅、JR 武蔵野線新秋津駅よりタクシーで約 5 分）
（詳細は裏面案内図をご覧ください。） <http://www.jniosh.go.jp/access/index.html>

講師：	東北大学名誉教授	榎本 兵治 氏
	東京大学 教授	土橋 律 氏
	(独)労働安全衛生総合研究所	山隈 瑞樹 氏
	(株)環境衛生研究所	島村 英生 氏
	(株)ホクリョウ	蒲池 正之介氏
	ホソカワミクロン(株)	小松 信幸 氏
	(株)大川原製作所	山本 仁巳 氏
	赤武エンジニアリング(株)	早野 敦 氏
	味の素(株)	中田 真輔 氏
	住友化学(株)	田中 則章 氏
	(株)日清製粉グループ本社	加納 理 氏
	味の素(株)	土屋 仁志 氏
	B S & B セイフティ・システムズ(株)	那須 貴司 氏
	日本フェンオール(株)	銚田 泰威 氏

近年、新たな機能性を求めて新しい素材が開発され、また高機能性を求めて微粉化が進行するなど、粉じん爆発・火災の危険性が増大しています。爆発・火災事故は悲惨な人的被害や生産施設等の破壊を引き起こし、これによって企業の存続が危ぶまれる状況が生じかねません。また、生産活動停止により、社会全体の活動にまで影響を及ぼす事態も懸念されるなどで、企業の社会的責任が厳しく問われるようになってきています。

このように、爆発・火災事故の撲滅を目指すことは企業の社会的な責任ですが、少数の特定の人々の知識や認識だけでは、いま以上の安全レベルに到達することはきわめて困難です。このためには、高度専門家の養成とともに、現場作業員や技術者はもとより、広く一般社員の、安全に対する認識や安全を迫る姿勢を高めることが、極めて大切だと考えます。

また、メーカーにおいても、爆発事故の悲惨さ、発生したときの社会的責任、対策技術とその経済性等々についてユーザーにきちんとした説得力のある説明ができる専門家の養成や、経済性を有する安全装置の設置を積極的に推奨できる人材の確保は死活問題になりかねません。さらに、メーカー、ユーザーを問わず社員全体の、安全に対する高い関心と認識が、企業の信用度を高めることになると考えます。

日本粉体工業技術協会粉じん爆発委員会は、業界の安全認識の底上げと、粉じん爆発を基礎から系統的に学ぶ機会として、粉じん爆発火災安全研修を企画・実施し、すでに 4 年目を迎えています。研修は初級と中級より構成され、両方を受講することで基礎全般を学ぶことが出来ます。

当安全研修は、日本粉体工業技術協会と労働安全衛生総合研究所が共催で実施し、内容もこれまでに類を見ないほど充実したものになっていますので、初任者はもとより、基礎全般を学ぶことで専門家としての質を高めるためにご利用いただき、さらなる安全の確保に役立てていただくことを念願しております。

主催：日本粉体工業技術協会 粉体工業技術センター教育部門

(独) 労働安全衛生総合研究所

企画：日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会

開催要領

日時：平成23年11月1日(火) 9:45～17:10、 2日(水) 9:00～17:10

場所：東京・(独)労働安全衛生総合研究所 <http://www.jniosh.go.jp> TEL：042-491-4512

プログラム（講義時間は質問時間5分を含む、『 』内は研修目的）

※都合により講師等の変更があり得ます。

※最新情報は協会ホームページ <http://www.appie.or.jp/event/seminar/h23/111101funjin.pdf> でご確認ください。

◇ 9:45 開会挨拶	(独)労働安全衛生総合研究所	理事長 前田 豊
◆ 1日目:11月1日(火) 9:50～17:10		
① 9:50-10:20 粉じん爆発のデモンストレーション[1] 『粉じん爆発の恐ろしさの啓蒙』	東北大学名誉教授	榎本兵治
・ビデオ等の映像による粉じん爆発の脅威の体験		
② 10:20-11:10 粉じん爆発の基礎知識[1] 『爆発現象と用語の理解』	東京大学	土橋 律
・燃焼の3要素		
・粉じん爆発の特徴と注意点		
・粉じん爆発の発生要件		
・爆発/火災危険特性値(MSDS危険性データとその見方)		
<ブレイク 10' >		
③ 11:20-12:25 静電気の発生と防止対策 『静電気の基礎と対策に関する知識の修得』	(独)労働安全衛生総合研究所	山隈瑞樹
・静電気放電の形態と危険性		
・静電気安全対策		
・静電気特性の測定法		
・災害事例分析		
<昼食 45' >		
④ 13:10-15:00 粉じん爆発のデモンストレーション[2] 『粉じん爆発の脅威の体験実習』	(株)環境衛生研究所 (独)労働安全衛生総合研究所 (株)ホクリョウ	島村英生 山隈瑞樹 蒲池正之介
・爆発火炎の観測と爆発下限濃度の体験実習		
・放電の観測と着火能力の体験実習		
・静電気の発生と危険性の体験実習		
<コーヒープレイク・移動 30' >		
⑤ 15:30-16:40 災害統計と事故事例からみた危険性 『統計資料及び事例解析による危険な状況の理解』	東北大学名誉教授	榎本兵治
・危険な粉じんの種類		
・危険な開始/停止操作		
・危険な工程/状況/装置		
・臨時作業		
⑥ 16:40-17:10 質疑応答		
◆ 2日目:11月2日(水) 9:00～17:10		
⑦ 9:00-10:00 粉じん爆発の基礎知識[2] 『安全確保のための基本知識の修得』	東北大学名誉教授	榎本兵治
・爆発危険性評価の基本		
・影響因子		
・爆発危険性の相対評価		
・リスク低減対策		
<コーヒープレイク 15' >		
⑧ 10:15-12:00 プロセスごとの危険性と安全対策 『各種工程におけるヒヤリ・ハット』	ホソカワミクロン(株) (株)大川原製作所 赤武エンジニアリング(株)	小松信幸 山本仁己 早野 敦
・粉砕/分級工程と集じん/分離工程		
・混合/造粒工程と乾燥工程		
・輸送/供給/排出/貯蔵工程		
<昼食 45' >		
⑨ 12:45-13:55 粉じんの種別別危険性と対策 『業種別にみた安全対策とヒヤリ・ハット』	味の素(株) 住友化学(株)	中田真輔 田中則章
・穀物/飼料/食用農水産物加工品		
・化学合成品/医薬原料		
<ブレイク 10' >		
⑩ 14:05-15:15 防災安全推進体制と粉じん爆発安全対策への取組み 『実際の取組例の理解』	(株)日清製粉グループ本社 味の素(株)	加納 理 土屋仁志
・日清製粉グループの例		
・味の素の例		
<コーヒープレイク 15' >		
⑪ 15:30-16:40 爆発防止・被害軽減対策 『対策技術・装置及び設置事例の映像紹介による理解』	BS&B セイフティ・システムズ(株) 日本フェンオール(株)	那須貴司 鉾田泰威
・爆発圧力放散設備(ベント)/消炎型爆発放散設備		
・爆発抑制装置/爆発伝ば遮断装置		
⑫ 16:40-17:10 質疑応答		

参加申込要領

定員：60名(ただし定員になりましたら、締め切ります。)

参加費：(いずれも1名様分。テキスト、昼食代および消費税込み)

日本粉体工業技術協会 会員	50,000 円
一般	60,000 円

※ 日本粉体工業技術協会会員で、特別協賛金納入の会員は 25,000 円

※ 研修にて使用するオーム社刊のテキスト A. 「粉じん爆発火災対策」

テキスト B. 「実務者のための 粉じん爆発・火災安全対策」

をお持ちの方は、必ずご持参下さい。各々につき 2,500 円 参加費を控除します。

※ 一日のみの受講は、受け付けておりません。

申込方法：①日本粉体工業技術協会のホームページ上から、

ホームページ申込：<https://www.appie.or.jp/seminar/funjin2011/index.html>

または FAX にてお申込み下さい。(FAX の場合は、必ず E-メールアドレスをご記入下さい)

②参加費は下記口座にお振込みください。

(お振込みいただいた参加費はお返しできませんので、欠席の場合は代理の方のご参加をお願いいたします。)

◆取引銀行 三井住友銀行 京都支店 (普通預金 No.7874956)

イッパンシヤダンホウジンニホンフンタイコウキヨウキジユツキョウカイ

◆口座名義 一般社団法人日本粉体工業技術協会

(尚、誠に勝手ながら振込手数料は貴社にてご負担ください。)

③申込書受け付け後、「受理書」は E-メール送信いたします。

申込締切日：平成 23 年 10 月 21 日(金)

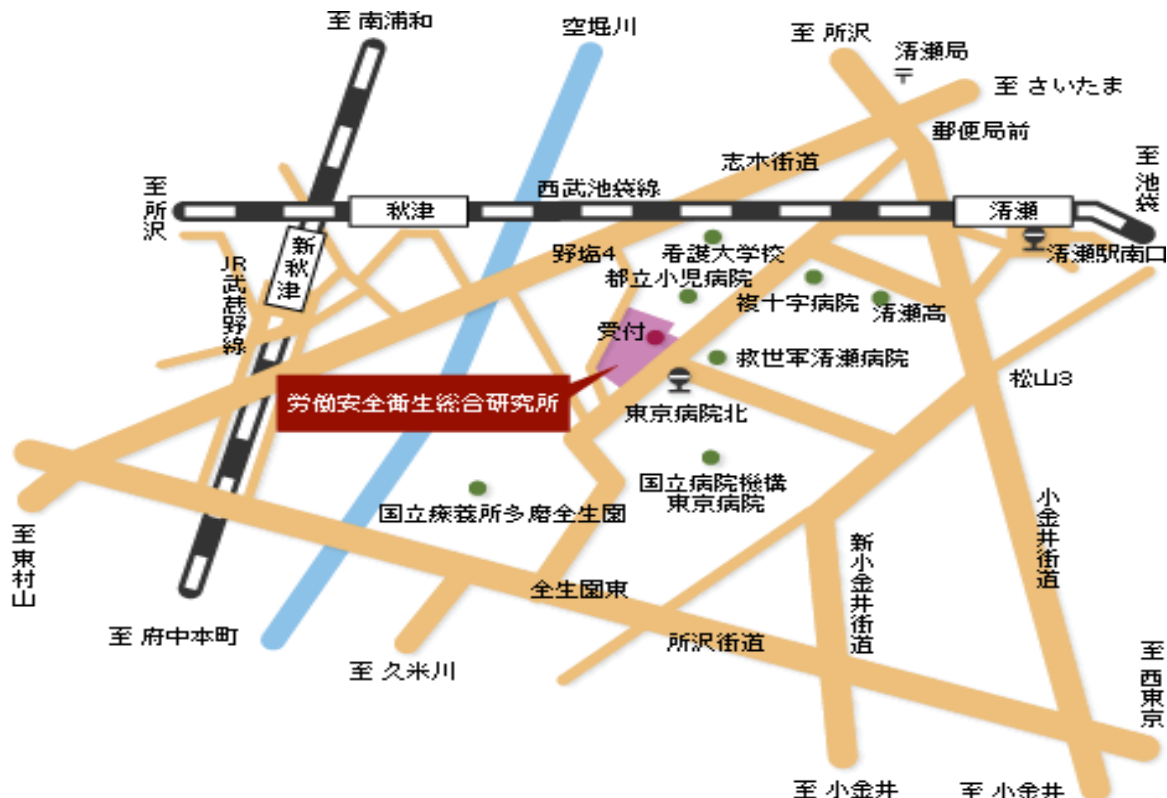
問合せ先：一般社団法人 日本粉体工業技術協会 本部

〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町 181(第 5 キョウトビル)

TEL：075-354-3581 ・ FAX：075-352-8530

E-mail: iuchi@appie.or.jp

会場案内図 (独)労働安全衛生総合研究所 (案内図) <http://www.jniosh.go.jp/access/index.html>



宿泊地は 近くは久米川(バスで約 15 分) 他は所沢や 池袋(バスと西武線で約 40 分)等が候補地です。

参加申込書

宛先：FAX 075-352-8530 日本粉体工業技術協会 本部
 粉じん爆発・火災安全研修【初級】係

《ホームページより申込は <https://www.appie.or.jp/seminar/funjin2011/index.html> 》
 (TEL : 075-354-3581)

2011 粉じん爆発・火災安全研修【初級】		参加申込書
		平成 23 年 月 日
※ 会社名・事業所名：		(下記の該当するところに✓して下さい) <input type="checkbox"/> 日本粉体工業技術協会 <input type="checkbox"/> 協会（特別協賛会員） <input type="checkbox"/> 一般
※ 所在地 〒		
※ 参加者 (ふりがな) 氏名	所属/役職、TEL、FAX、e-mail	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
	所属/役職 TEL : FAX : e-mail :	
※ 参加費送金額: ¥ _____ 内訳(参加費: ¥ _____ - テキスト控除額: ¥ _____) テキスト A. 持参「粉じん爆発火災対策」 2,500 円 控除 [] " B. 持参「実務者のための 粉じん爆発・火災安全対策」 2,500 円 控除 [] テキスト A./テキスト B.を持参の方は 該当に[○]を入れ 各々の金額を差し引いた参加費を送金下さい。		

(複数でお申込みの場合は代表の方の連絡先、参加者以外で連絡窓口がある場合はその方の連絡先を下記にご記入ください。)

事業所・部門名・職名：

氏名：

TEL： FAX：

e-mail：

協会 備考欄：

【個人情報の管理について】

頂いた情報については、一般社団法人日本粉体工業技術協会が責任をもって管理し、協会が開催するセミナーなどのお知らせに必要な範囲内で利用させていただきます。